

令和 7 年度 生活交通に関するアンケート調査 単純集計結果 [速報版]

1 調査の実施

(1) 調査の目的

町民の移動実態及び生活交通に係るニーズ等を把握して、大崎上島町地域公共交通計画（第 2 期）策定の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査の設計

①調査対象

全世帯を対象とする。（15 歳以上の方に回答を依頼）

②調査方法・時期

配布：自治会経由で各戸配布

回収：紙面で回答※、またはWEB 回答

※郵送、または役場本庁・各支所窓口にて回収

回収締切日：令和 7 年 9 月 26 日（金）

③調査項目

○回答者の属性（性別、年齢、職業、居住地域、所有している運転免許、免許返納の予定）

○普段の外出での交通手段、満足度

○町内のバス等、タクシー、フェリーの利用実態、満足度等

○令和 7 年 4 月の公共交通体系の見直しについて

○本町の公共交通全般について（フリーアンサー）

(3) 調査票の回収状況

■配布件数	3,223 件
■有効票	1,091 件 [郵送回収 1,004 件、WEB 回収 87 件]
■回収率	33.9%

(4) 本報告書の数値の取り扱い等

- 図中の「N」は集計対象者数を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。
- 比率は全て、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（副問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（%）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（%）の合計は、100.0%を超える場合がある。
- 百分率（%）は小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（%）の合計が100.0%にならない場合がある。
- 2つの選択肢を集約した場合（「大変満足」と「やや満足」を合計した『満足』など）は、当該選択肢の回答数の合計から割合を算出しているため、グラフに示した選択肢ごとに算出した割合の合計と一致しない場合がある。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。

2 単純集計の結果

（質問 1）回答者の属性

①性別（1 つに○）

○回答者の性別は、「女性」が 57.4%、「男性」が 40.4%となっている。

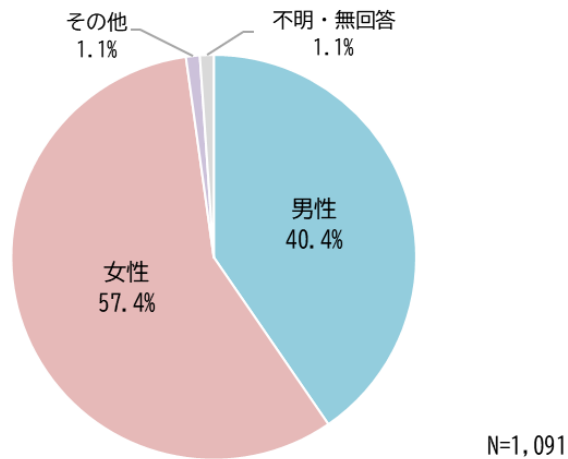


図 1 居住地域

②年齢（1 つに○）

○回答者の年齢は、「70 代」が 34.7%で最も多く、以下「80 歳以上」（29.6%）、「60 代」（18.6%）と続いている。

○60 歳以上をまとめると約 82.9%、また 70 歳以上では約 64.3%であり、高齢者が多くの割合を占めている。

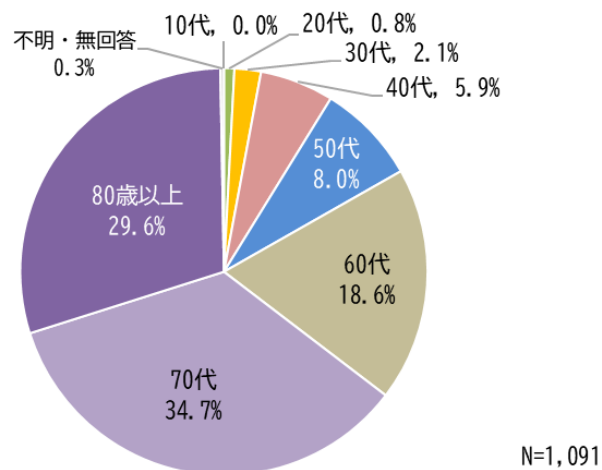


図 2 居住地域

③職業（主なもの1つに○）

○回答者の職業は、「無職」が44.6%で最も多く、以下「会社員・公務員」(15.1%)、「専業主婦」(12.7%)、「自営業・自由業」(11.9%)と続いている。

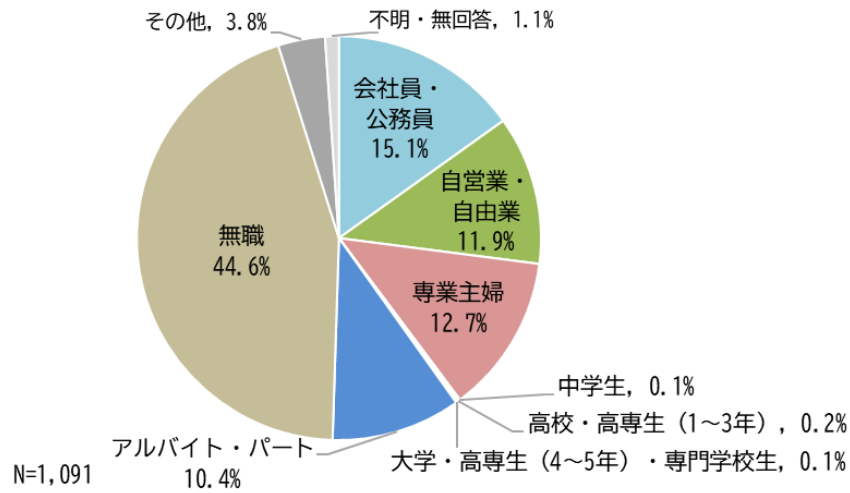


図 3 職業

④居住地区（1つに○）

○回答者の居住地区は、「中野」が33.2%で最も多く、次いで「東野」(27.9%)、「木江」(10.4%)となっている。

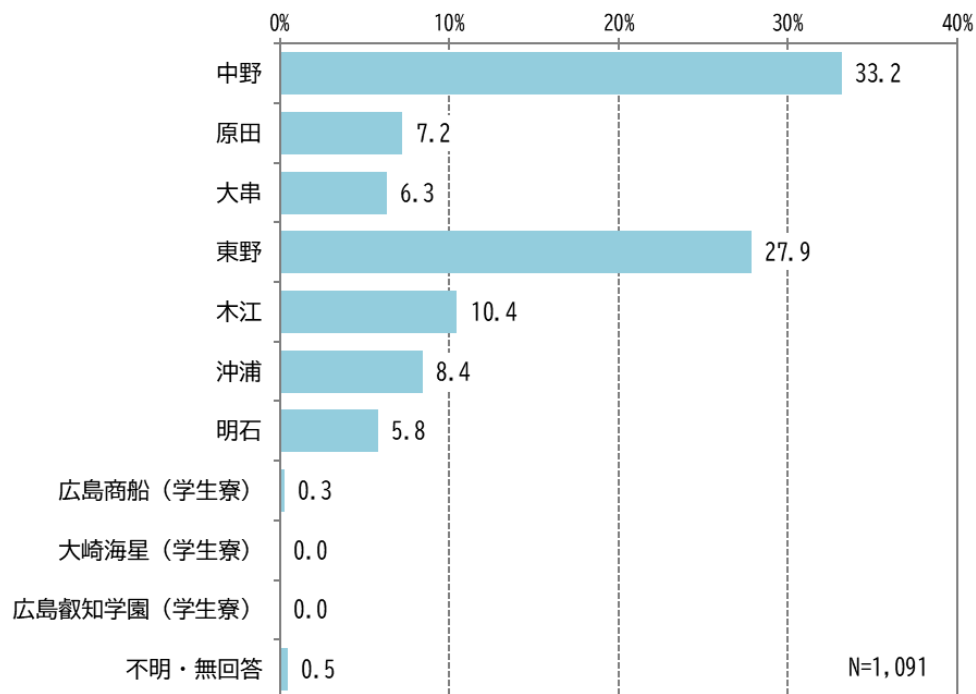


図 4 居住地域

⑤運転免許の保有状況（該当するもの全てに○）

○回答者の運転免許の保有状況は、「自動車運転免許あり」が79.6%で最も多く、「二輪」（12.6%）、「原付のみ」（3.3%）となっており、『免許保有』は81.6%である。

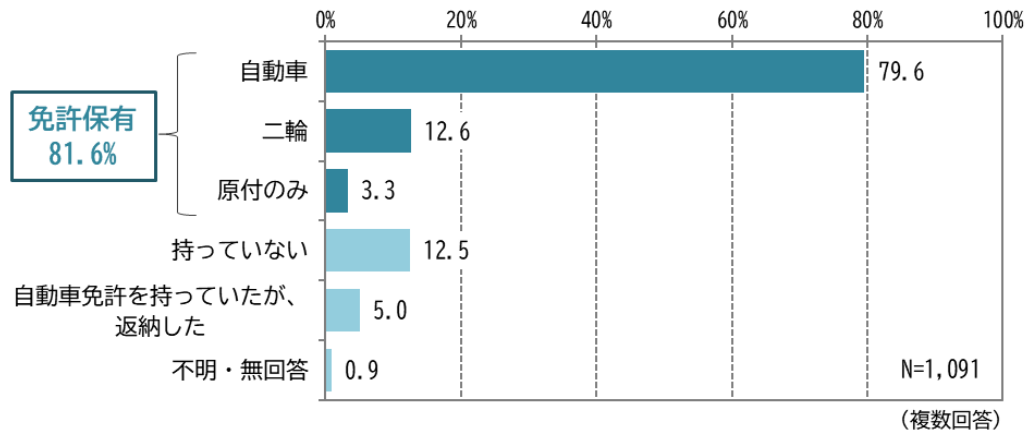


図 5 運転免許保有状況 [複数回答]

⑥免許返納の予定（1 つに○）

○運転免許保有者の免許返納の予定は、「しばらく返納しない」が79.7%を占める。

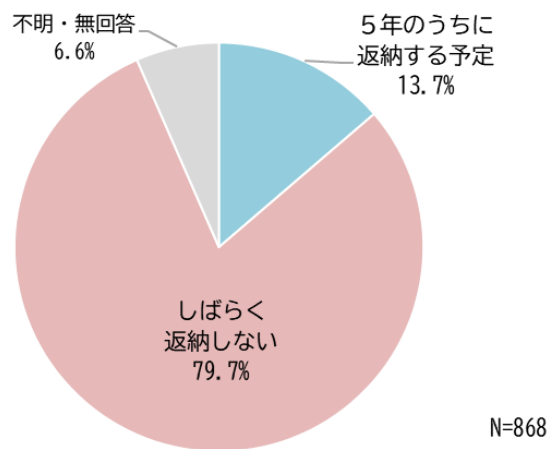


図 6 免許返納の予定<運転免許を保有している人のみ>

(質問2) 普段の生活交通について

①あなたは普段、自動車(自家用車)を利用していますか。(該当するもの全てに○)

○普段の自動車の利用状況としては、「自分で運転する」が78.5%と最も多く、続いて「家族や知人に送迎してもらえる」が17.5%である。一方、「普段の暮らしで自動車を利用しない」と回答したのは4.3%であった。

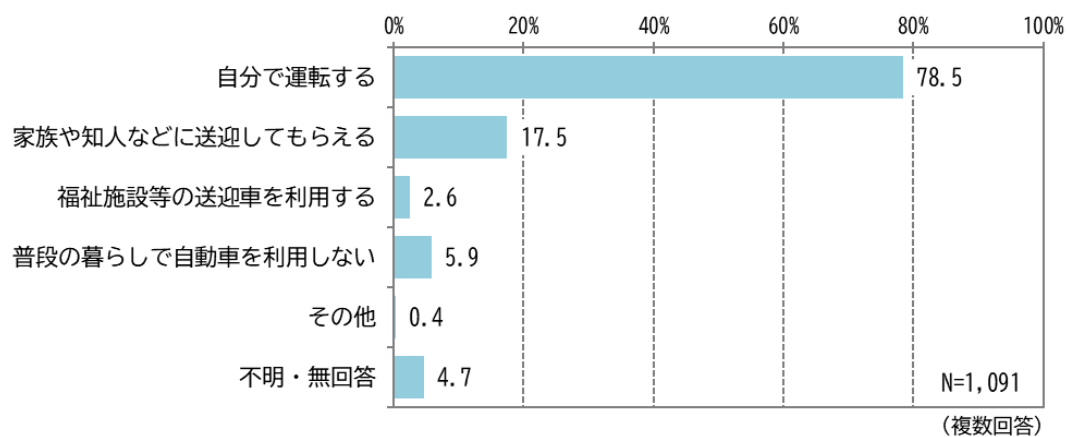


図 7 普段の自動車利用状況 [複数回答]

②普段、買物や通院などで、よく利用する島内の交通手段は何ですか。（主なもの2つまでに○）
※お店や病院が島外の場合は港までの交通手段

○よく利用する交通手段として「車（自分で運転）」（76.7%）の割合が極めて高い。

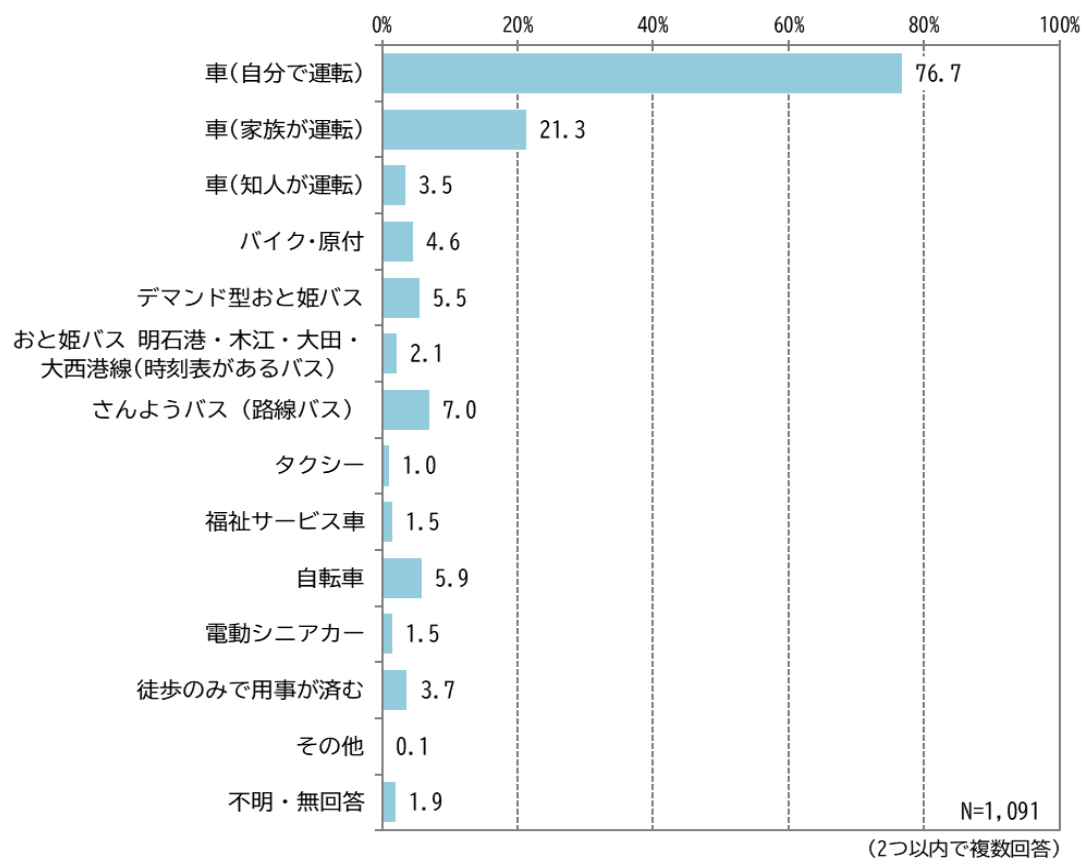


図 8 島内の交通手段 [2 つ以内で複数回答]

③それらの交通手段に満足していますか。（1つに○）

○普段の交通手段についての満足度は「満足」が70.8%で最も多く、『不満』（「少し不満」と「とても不満」の合計、以下同じ）は22.9%となっている。

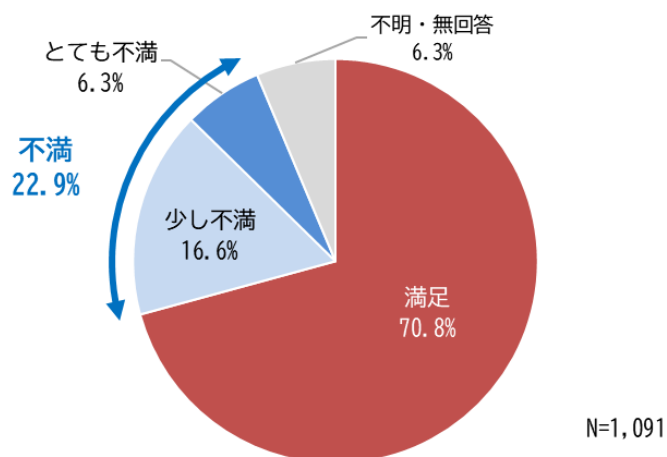


図 9 交通手段の満足度

④将来の外出時に利用する交通手段について、不安はありますか。（1つに○）

○将来の交通手段への不安は、『不安』（「少し不安」と「とても不安」の合計、以下同じ）が70.2%を占めている。一方、「不安は感じない」は13.7%となっている。

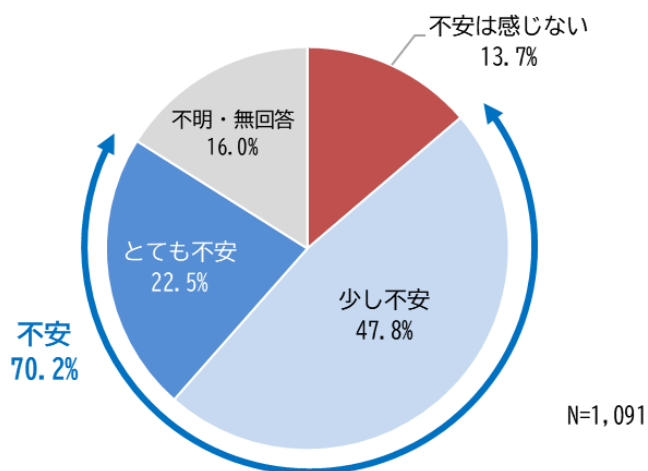


図 10 将来の交通手段への不安

（副問）※④で「2. 少し不安」「3. とても不安」と回答された方にお聞きします。
どのような点が不安ですか？（3つまでに○）

○将来の交通手段について「不安」に感じている内容は、「高齢になり、自分で自動車が運転できなくなること」が75.2%であり、次いで、「将来、バスや船などが減便、廃止されるかもしれないこと」が44.4%となっている。

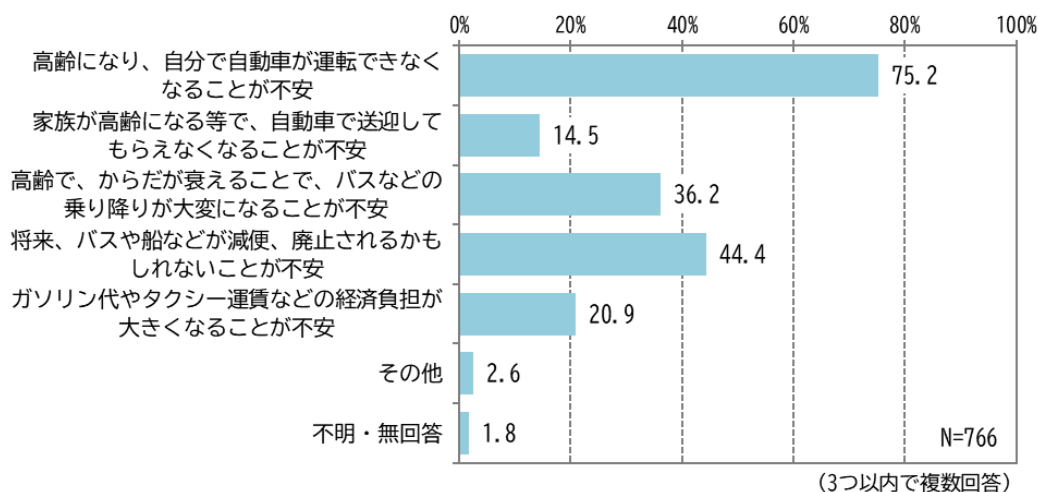


図 11 将来の交通手段について不安に感じる内容 [3つ以内で複数回答]

（質問 3）本町の公共交通のご利用について

①本町で走る3つの「バス」の利用について

ア) 町の「バス」を利用されますか？（該当するもの全てに○）

○町の「バス」において、「いずれも利用しない」が71.4%で過半数を占めている。

○「デマンド型おと姫バス」と「さんようバス」の利用割合は、同程度である。

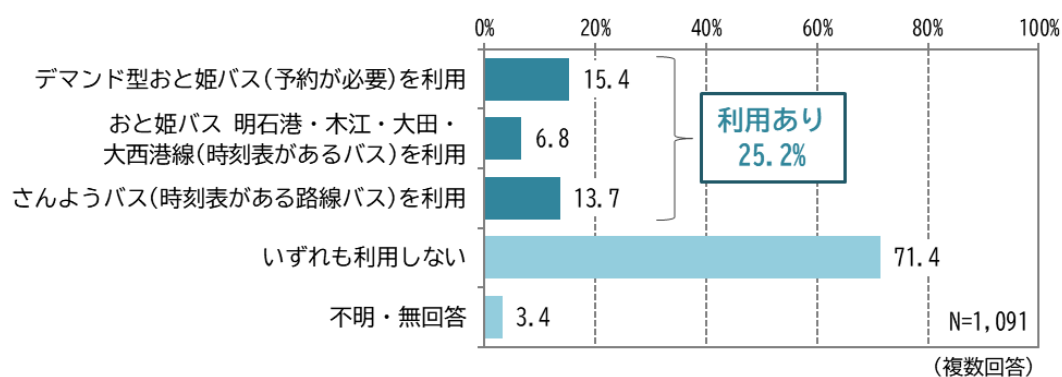


図 12 町の「バス」の利用割合〔複数回答〕

イ) 町の「バス」を利用する日数は？（1つに○）

○町の「バス」の利用頻度は、「年に数日程度」が32.4%で最も多い。次いで「月に2～3日」が19.6%となっている。

○週1日以上利用する回答者は、21.5%であった。

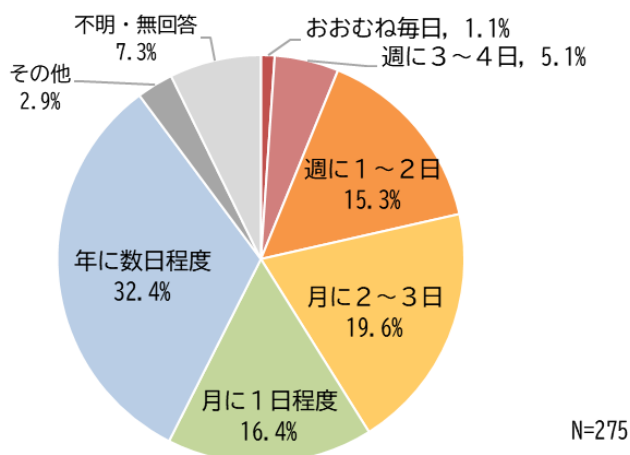


図 13 町の「バス」の利用頻度

ウ) 主な利用目的は？（該当するもの全てに○）

○主な利用目的は、「通院」が49.1%で最も多く、以下「買物」(34.5%)、「趣味・娯楽」(17.5%)、「公共施設・金融機関の利用」(10.2%)と続いている。

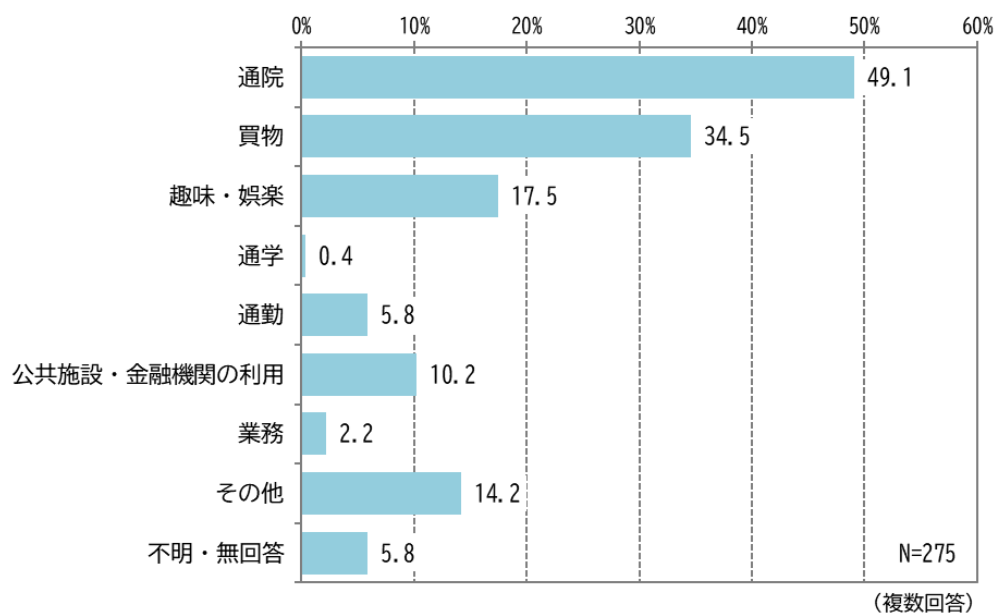


図 14 町の「バス」の主な利用目的 [複数回答]

エ) 町の「バス」の満足度は？（それぞれの選択肢 1 つに○）

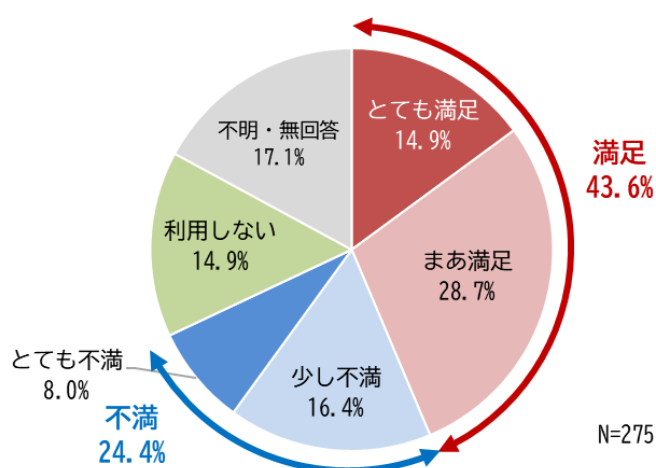
○デマンド型おと姫バスの『満足』（「とても満足」と「まあ満足」の合計、以下同じ）は 43.6%、『不満』は 24.4%である。

○おと姫バス（明石港・木江・大田・大西港線）の『満足』は 25.4%、『不満』は 17.1%である。

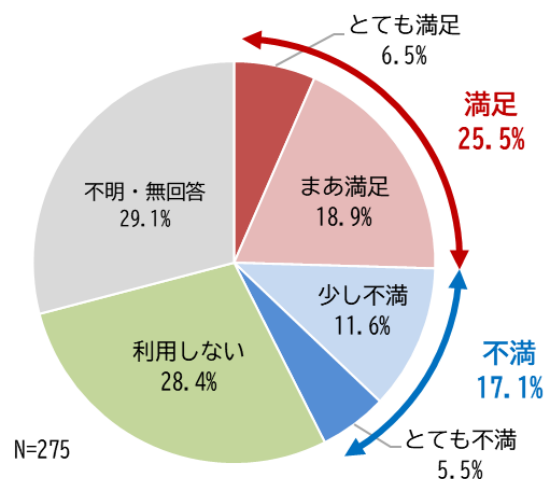
○さんようバスの『満足』は 37.8%、『不満』は 26.1%である。

○3つの路線共に、『満足』の割合が『不満』を上回っている。

<デマンド型おと姫バスの満足度>



<おと姫バスの満足度（明石港・木江・大田・大西港線）>



<さんようバスの満足度>

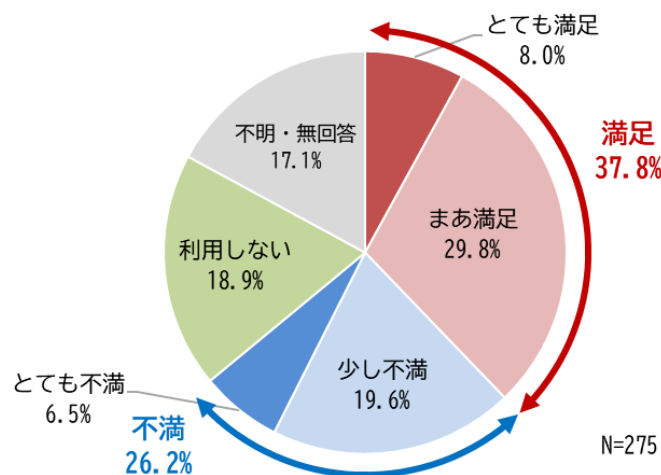


図 15 町の「バス」の満足度

オ) 町の「バス」を不満に思うことは？（該当するもの全てに○）

○町の「バス」への不満で最も多いのは「フェリーとバスとの接続が不満」で31.3%であった。以下、「デマンド型の利用者が多くて予約がとれない」（28.7%）、「ルートやダイヤが不満」（26.5%）と続いている。

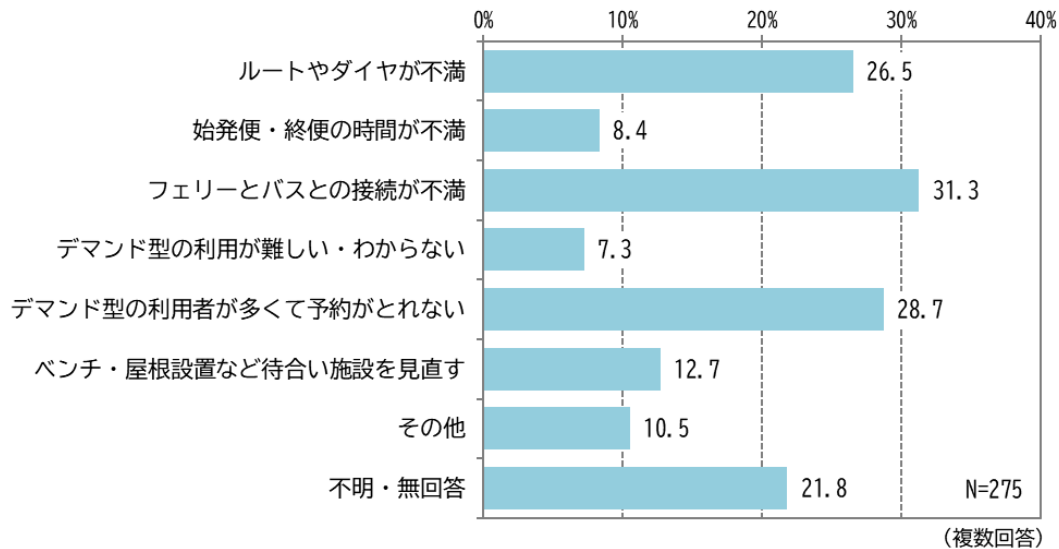


図 16 町の「バス」への不満 [複数回答]

（副問）※ア）で「4. いずれも利用しない」と回答された方にお聞きします。

町の「バス」を利用していない理由は何ですか？（該当するもの全てに○）

○町の「バス」を利用しない理由は、「自動車・バイクを運転する」が88.3%で最も多く、「家族や知人が送迎してくれる」（23.5%）と続いている。

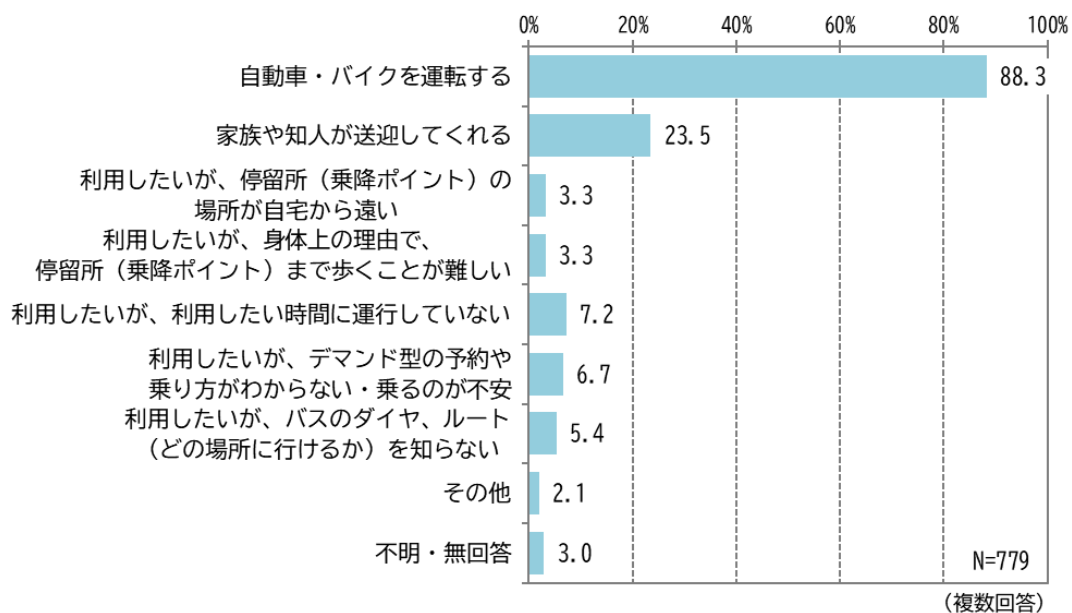


図 17 町の「バス」を利用しない理由 [複数回答]

②町内の「タクシー」の利用について

ア) 町内で「タクシー」を利用する日数は？（1つに○）

○「タクシー」の利用頻度は、「タクシーを利用しない」が68.9%で最も多い。次いで「年に数日程度」が4.2%となっている。

○週1日以上利用する回答者は、0.3%にとどまる。

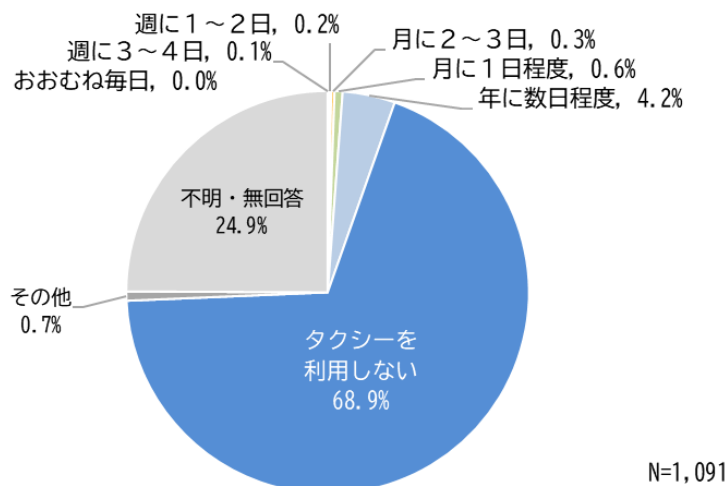


図 18 町内の「タクシー」の利用頻度

イ) 主な利用目的は？（該当するもの全てに○）

○主な利用目的は、「通院」が43.3%で最も多く、以下「買物」（19.4%）、「公共施設・金融機関の利用」（11.9%）と続いている。

○「その他」の具体的な内容は、自家用車を利用できないとき、フェリーの帰港地が異なったときなどとなっている。

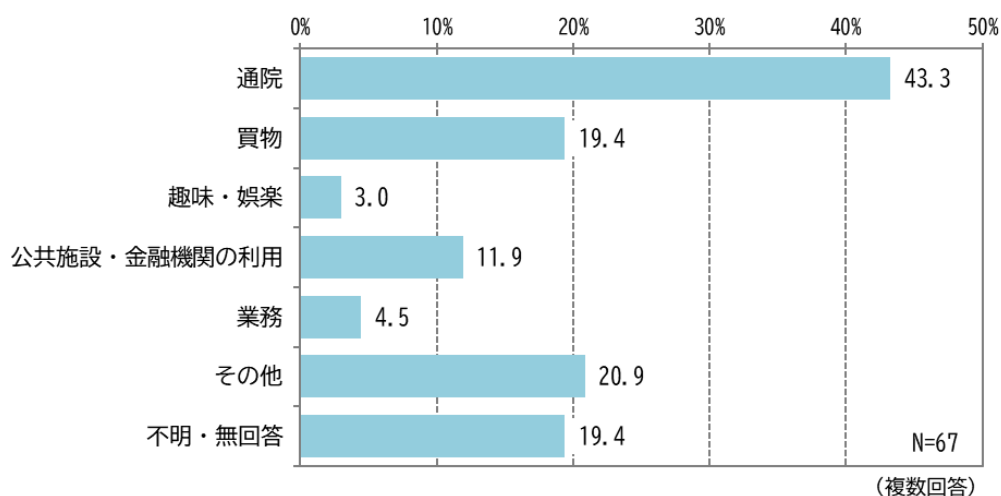


図 19 町内の「タクシー」の主な利用目的〔複数回答〕

③大崎上島から町外への「フェリー」の利用について

ア)「フェリー」を利用する日数は？（1つに○）

○「フェリー」の利用頻度は、「月に2～3日」が36.2%で最も多い。次いで「月に1日程度」が25.4%となっている。

○週1日以上利用する回答者は、12.8%である。

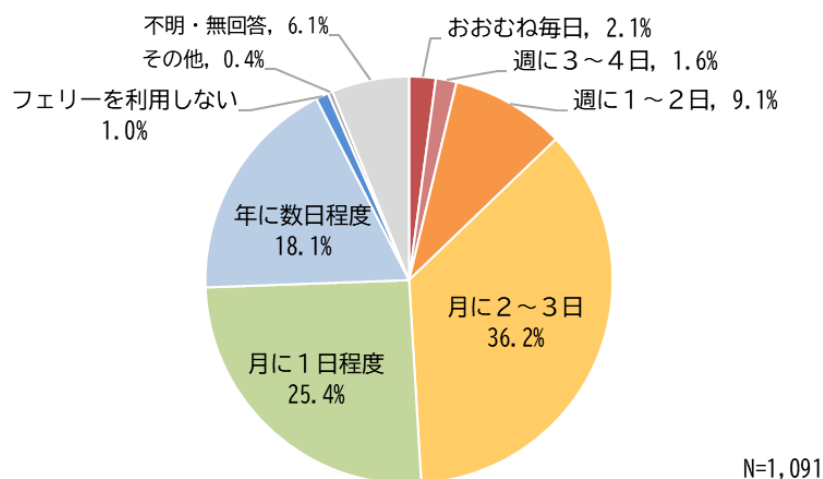


図 20 「フェリー」の利用頻度

イ)主に利用される大崎上島の港は？（最も多い1つに○）

○「フェリー」利用時に使う大崎上島の港は、「白水港」が50.3%で最も多い。次いで「垂水港」が22.0%、「大西港」が20.2%となっている。

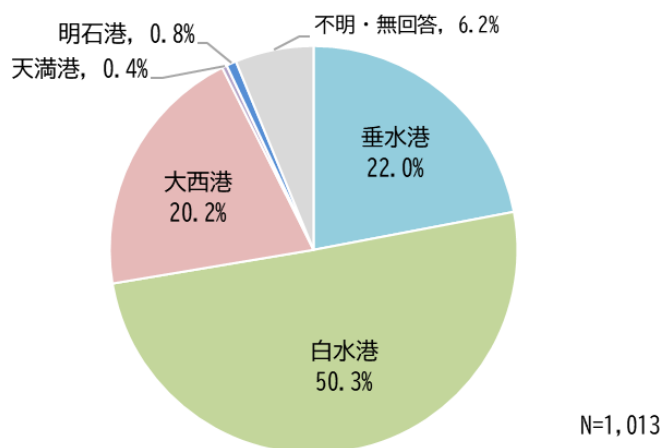


図 21 「フェリー」利用時に使う大崎上島の港

ウ) 主な利用目的は？（該当するもの全てに○）

○主な利用目的は、「通院」が69.6%で最も多く、以下「買物」（45.9%）、「趣味・娯楽」（28.3%）、と続いている。

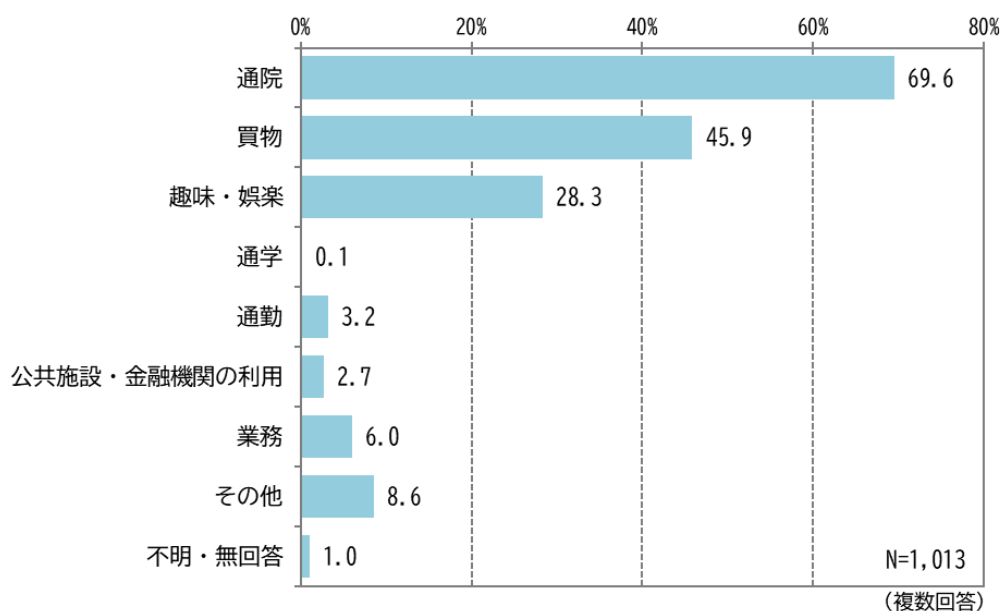


図 22 「フェリー」の主な利用目的〔複数回答〕

エ) 「フェリー」の満足度は？（1つに○）

○「フェリー」の満足度は、『満足』は61.8%、『不満』は33.0%であり、満足が不満を大きく上回っている。

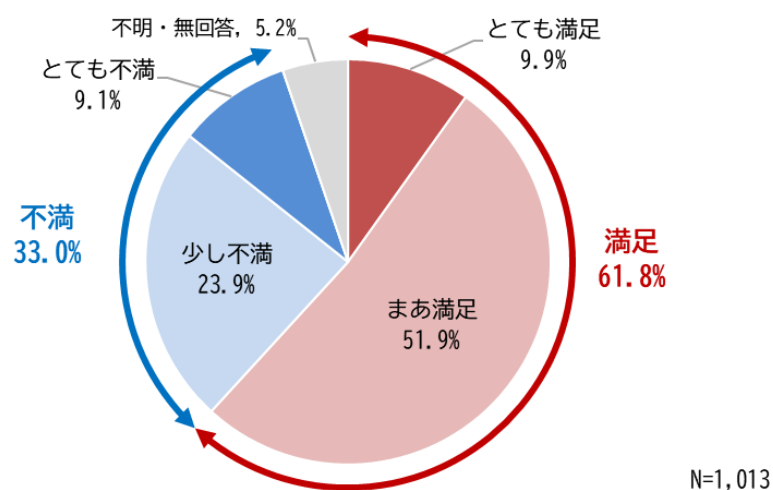


図 23 「フェリー」の満足度

オ)「フェリー」を不満に思うことは？（該当するもの全てに○）

○「フェリー」への不満で最も多いのは「料金が不満」の42.6%であり、選択肢において突出している。

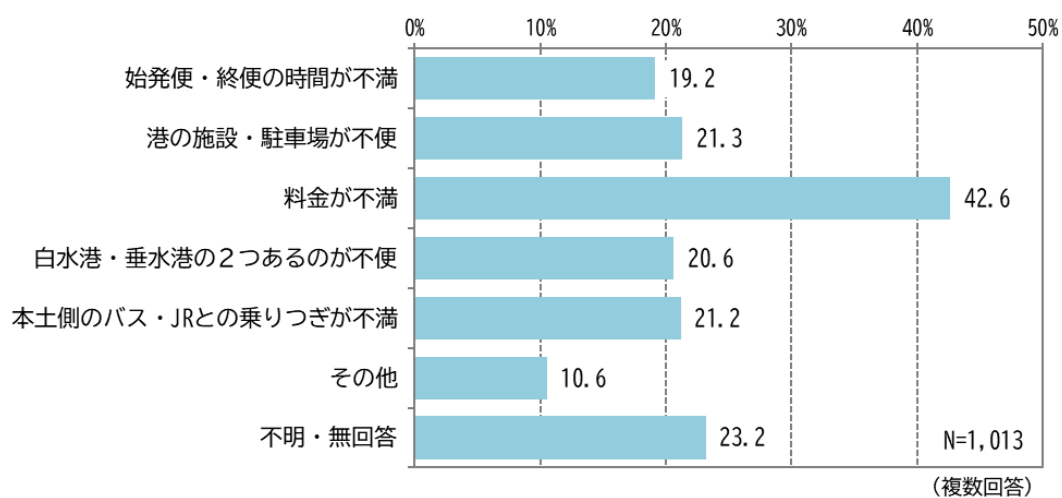


図 24 「フェリー」への不満 [複数回答]

(質問 4) 令和 7 年 4 月の公共交通見直しについて

① 4 月より、従来の（時刻表に従う）おと姫バスを大幅に削減し、その分、デマンド型の運行台数を増やしました。この見直しについての感想を教えてください。（1 つに○）

○ 4 月に行った公共交通の見直しに関して、最も多かったのは「見直したことを知らない」で 30.9% だった。

○ 「良くなった」は 15.9% であり、「悪くなった」の 7.7% を上回っている。

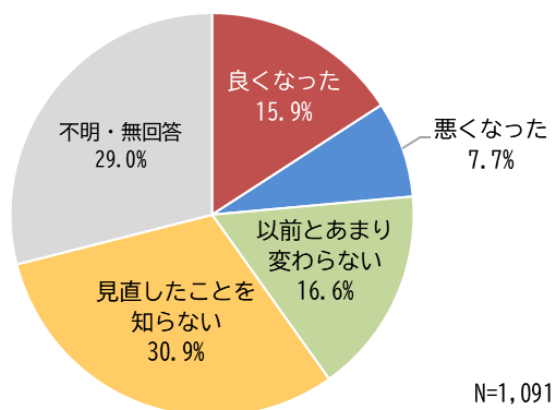


図 25 公共交通見直しの感想

② 4 月に、おと姫バスの運賃を 100 円から 200 円（小人は 50 円から 100 円）へ値上げしました。この見直しにより、利用回数に変化はありましたか。（1 つに○）

○ 「おと姫バスを利用したことがない」が 58.1% で最も多かった。

○ 「利用回数は減っていない」は 16.0% であり、『利用回数が減少した』（「利用回数が大幅に減った」と「利用回数が少し減った」の合計）の 2.5% を大きく上回っている。

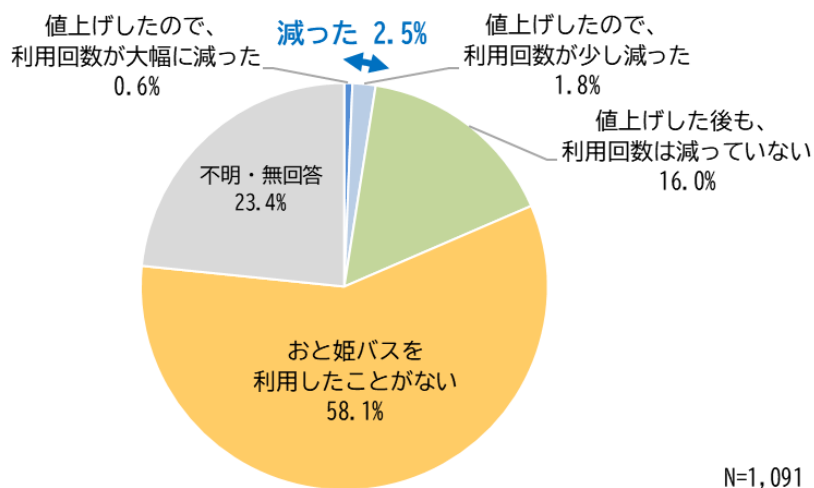


図 26 見直しによる利用回数の変化

（質問 5）本町の公共交通全般に関して

①昨年度、早朝・夜間に自動運航船「ゆき姫」（竹原～白水）の試験運航を行いました。

もし今後、フェリー営業時間外の早朝・夜間に、予約式の航路サービスが導入されたら、利用すると思いますか。（1つに○）

○今後のフェリー営業時間外の予約式運航サービスについて「利用しないと思う」が48.2%で最も多く、次いで「たぶん利用すると思う」が36.0%、「絶対に利用する」が3.3%となっている。

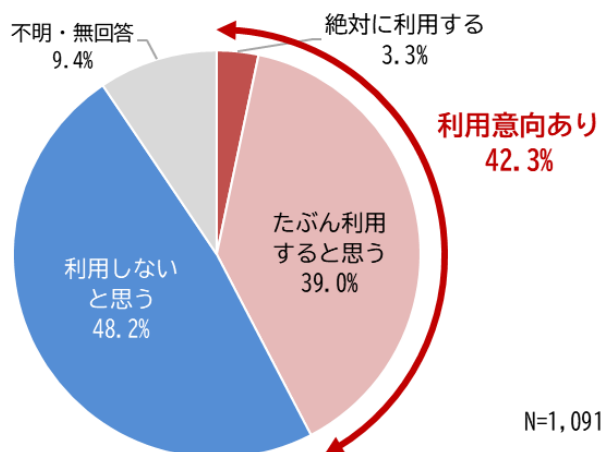


図 27 営業時間外の予約式運航サービス

【営業時間外の予約式運行サービスで希望する航路】

（副問1）※①で「1. 絶対に利用する」「2. たぶん利用すると思う」と回答された方にお聞きします。
特に希望する航路（1つに○）

○希望する航路では「竹原航路」が77.3%、「安芸航路」が13.2%であった。

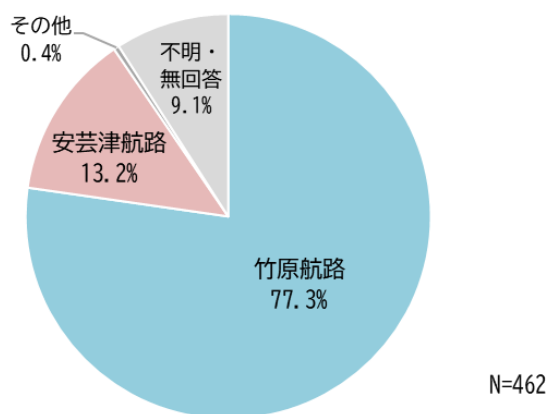


図 28 希望する航路

【営業時間外の予約式運行サービスで支払える運賃】

(副問2) ※①で「1. 絶対に利用する」「2. たぶん利用すると思う」と回答された方にお聞きします。
支払える運賃：1乗船あたり（大人・1名）

○営業時間外の予約式運航サービスで支払える運賃で最も多かったのは「1,000円～1,500円」で30.8%であった。

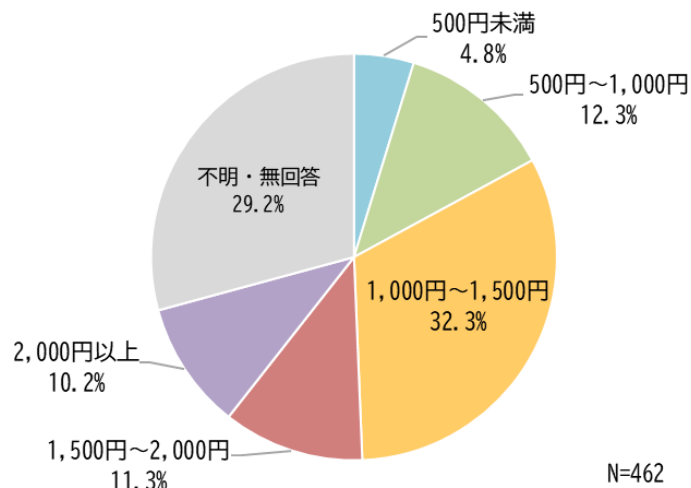


図 29 支払える運賃

【営業時間外の予約式運航サービスで利用したい目的】

(副問3) ※①で「1. 絶対に利用する」「2. たぶん利用すると思う」と回答された方にお聞きします。
利用したい目的（該当するもの全てに○）

○営業時間外の予約式運行サービスで利用したい目的は「通院」が43.1%で最も多く、「飲食」(17.7%)、「業務」(6.5%)と続いている。

○「その他」の具体的な内容は、旅行や娯楽などの意見が多い。

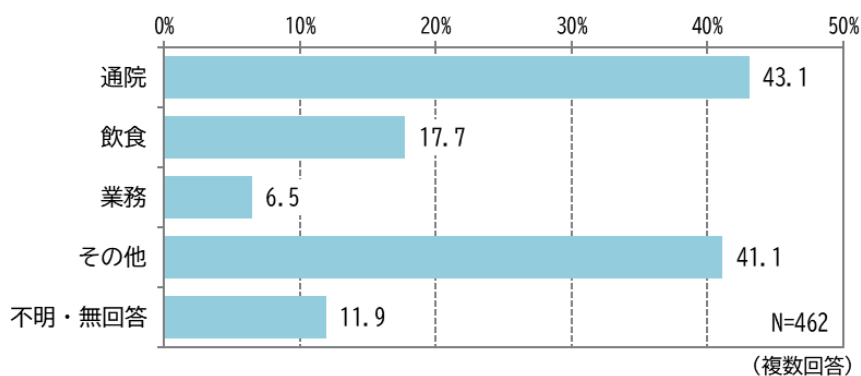


図 30 利用したい目的 [複数回答]

②公共交通へのご意見等ありましたら、交通手段をお選びいただき、内容をお教えてください。【意見がある公共交通（該当するもの全てに○）】

○公共交通への意見の中で最も多かったのは「フェリー」で24.5%であった。次いで「デマンド型おと姫バス」が9.4%となっている。

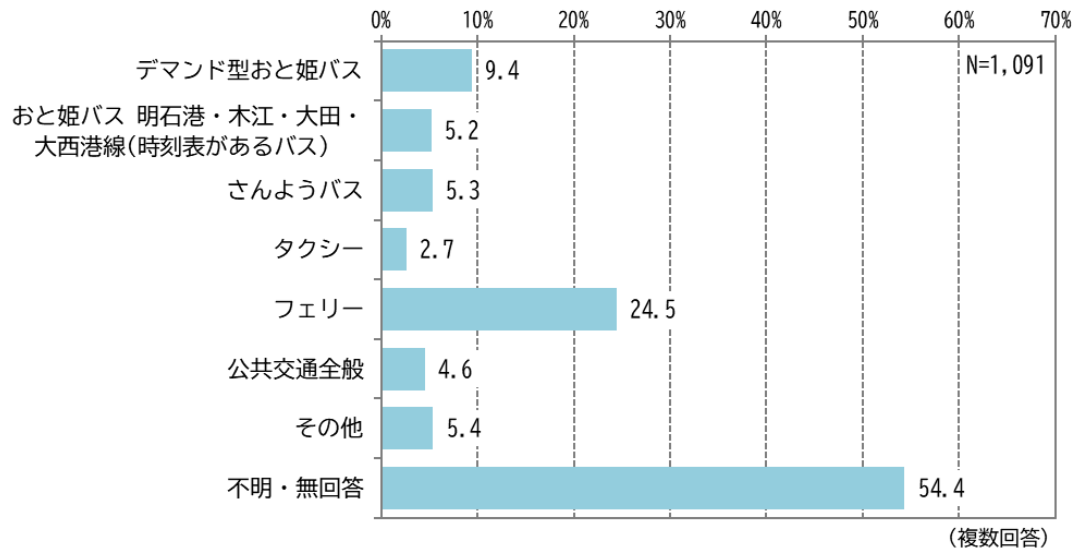


図 31 公共交通への意見 [複数回答]

(具体的な内容 (フリーアンサー) は整理中)